

(様式第2号)

会派政務調査活動(行政視察)報告書 (総括)

会派名	大地の会
会派の代表者名	鎌田 正  □
視察(調査)期日	平成28年3月23日(水)～3月25日(金)
視察(調査)先	山口県周南市「水素の利活用について」 広島県邑南町「日本一の子育て村の子育て施策について」
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	・山口県周南市「水素ステーション」 限りある資源を有効に使うべく当市においても小水力発電やメガソーラー事業など再生可能エネルギーの活用に取り組んでいるところだが、より先進的な取り組みを学ぶ必要があるため。 ・広島県邑南町「日本一の子育て村を目指して」 例に漏れず少子高齢化が進む当市において少子化対策は喫緊の課題であり、「日本一の子育て村」を掲げて対策に取り組み、人口も増加傾向にあるほどの先進事例を学ぶ必要があるため。
視察(調査)の行程	別紙のとおり
視察(調査)への 参加議員名	鎌田正、武田隆、大山利吉、金谷道男、大野忠夫、本間輝男、高橋幸晴、富岡喜芳、石塚柏、佐藤郁男、秩父博樹、後藤健、千葉健(13名)
視察(調査)概要	・山口県周南市「水素ステーション」 周南市にある「イワタニ水素ステーション山口周南」において、周南市の担当職員の方から周南市が進める「周南市水素利活用構想」について説明を受け、同地にある水素ステーションにて実際のステーションを視察。 ・広島県邑南町「日本一の子育て村を目指して」 同村役場内において担当職員の方の説明を受け、その取り組みが少子化・移住対策の先進事例として紹介されたテレビ番組の映像を閲覧。



<p>視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について</p>	<p>※個別報告参照。</p>
<p>その他(会派としての総合的意見、上記成果への今後の取り組み等)</p>	<p>資源の枯渇や地球規模の環境問題が叫ばれる昨今、周南市で学んだ「水素ステーション」についての取組は、工場から排出される水素を活用したエネルギー施策は大いに参考になった。また、少子高齢化に歯止めがかからない当市において、「日本一の子育て村」を掲げて少子化対策に取り組む邑南町の事例についても学ぶところが多かったと感じている。</p> <p>今回の行政視察で学んだことを各議員が積極的に議会(議員)活動の参考にし、市当局に提案、若しくは学んだことを基に議論することで大仙市をより良い方向に導くことが我々議員に課せられた責務であることを肝に銘じて今後の活動に邁進して参りたい。</p>